



赤麻小だより

第50号

平成28年7月20日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

校庭の立葵の花が一番上まで咲いたので、梅雨明けもまもなくではないでしょうか。校長室の前には、ゴーヤの緑のカーテンが強い日射しを遮ってくれています。海の日までの3連休から、空も夏空、太陽の光も強烈、空気も熱気を帯び、蝉の声も聞こえています。流行性耳下腺炎に悩まされる1学期でしたが、あかまっ子たちは元気に終業式を迎えることができました。

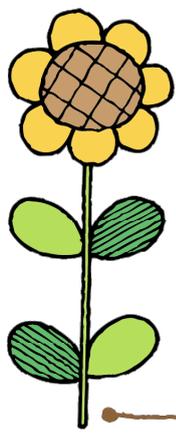
1学期における保護者の皆様、地域の皆様、そしてボランティアの皆様の温かいご支援には本当に感謝いたしております。ありがとうございました。夏季休業は42日間です。長いお休みとなりますので、ぜひ学校ではできない体験活動や自由研究、学習等に、ご家族や友達と一緒に取り組ませてください。学校では、夏休みに向けた心構えや過ごし方について、学年だよりなどで保護者の皆様にご理解ご協力をお願いしておりますが、一番願うことは、**子どもたちの命の安全**です。

子どもたちが事故に遭わず、けがや病気をせずに過ごし、2学期の始業式9月1日(木)には、全員元気に登校してくることを楽しみにしております。



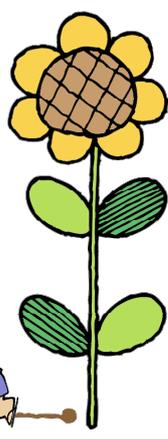

1学期を振り返ってみました

赤麻小の合い言葉ができて2年目。様々な教育活動をとおり、成長や課題を感じる4か月となりました。夏休みを迎えるに当たり1学期を振り返り、さらに健全なあかまっ子の育成に努めてまいりたいと思います。



合い言葉は
『あかまっ子』

目指すは「安心・自身・意欲・チャレンジ」あふれる学校



あ
か
ま
っ
こ

明るいあいさつ **響く学校**

輝く笑顔が **あふれる学校**

まっすぐな心の **広がる学校**

困難も不撓不屈で **頑張る学校**



- (1) **明るいあいさつ 響く学校** *地域の中での明るいあいさつも目指しています!*
子どもたちは学校で、来客の方やボランティアの方、教師等に、元気なあいさつをしてくれます。校内に「おはようございます」「こんにちは」と響く声は、元気パワーにあふれています。ただ、登下校でお会いする立哨当番の保護者の皆様や交通指導員の方へのあいさつが、「もう少し…」という声も聞こえてまいります。
明るいあいさつが響く学校に向かうためにも、ぜひ夏休み中はご家族で過ごしているときや外出したときに、元気なあいさつができるようにお声掛けください。
- (2) **輝く笑顔が あふれる学校** *トラブルを解決できる力を付けて心からの笑顔を!*
数々の行事や教育活動、校外における活動等で、子どもたちの明るい笑顔をみることができました。もちろん学校は集団生活の中での学びの場ですので、友達とのトラブルや十分に満足することのできない結果に終わることもありました。しかしそのときこそが、望ましい集団行動の在り方や望ましい人間関係の調整の仕方を学ぶ「場」であり「チャンス」なのです。家族ではない自分以外の人との関係性を学ぶことは、

公の社会人としての在り方を学んでいることとなります。

その時々の子どもの思いと真剣に向き合いながら、心からの笑顔があふれる学校づくりに努めてまいります。

(3) **まっすぐな心の 広がる学校** 言葉にまっすぐな心をのせて正しい行動を!

学年を超えた集団活動や行事で、友だちに優しく声をかける子や下級生をいたわり声を掛けながら活動する子、相手の気持ちを思いやり、元気になる言葉を使える子どもたちは少しずつ増えてきました。学校は教育活動の中で、人間関係の調整力だけではなく、正しいことや当たり前前のことが「わかる」「できる」という、規範意識の柱を子どもたちの中につくっています。上学年になるにしたがって、正しいことや当たり前前のことが自然にできる子どもたちも育ってきています。

言葉は「言霊」ともいいます。その人の心や思いもこめられます。言葉を大切に使い、まっすぐな心で行動できる子どもが育つ学校づくりに取り組んでまいります。

(4) **困難も不撓不屈で 頑張る学校** 自分と向き合い、粘り強くたくましく!

子どもたちは勉強や運動に限らず、何事にも一生懸命取り組んでまいりました。時には失敗や挫折を味わうこともありますが、次の目標をもち意欲的にチャレンジしようとする子どもたちの姿は、たくましく感じました。子どもたちには、「練習は嘘をつかない」と話します。勉強でも運動でも、自分が取り組んだ結果は、いつも満足のいくものばかりではありません。満足がいかず悔しいと思うのは、意欲があるからなのでしょう。

結果を何かのせいにしてたり誰かのせいにしてたりせず、八つ当たりや泣き言を言わず、粘り強く頑張る不撓不屈の精神を大切にして、教育活動に取り組ませてまいりたいと思います。

子どもたちは心も体も頭も柔らかく、日々多くのことを吸収して成長しています。今年も「言葉が心を相手に伝え人間関係を豊かにする大切な道具であること」「望ましい集団活動の体験が豊かな感情や心を育てること」「学校生活はより良い生活をするための望ましい行動や正しい判断力を育てる場であること」を、折に触れて子どもたちにも職員にも話してきました。失敗や間違いから学ぶことや発見することも大切にしていきます。2学期も、失敗を気にすることなくチャレンジできる、明るく、かしこく、たくましい「あかまっ子」の育成を目指し、合い言葉の掲げた学校づくりに、全職員で取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。



子どもたちの活動から

【1学期もたくさんのボランティアの方にお世話になりました】



〔7/5 4年生の高齢者福祉体験授業〕

本校では、子どもたちの学習活動を充実するため、多くの各種団体やボランティアの皆さんにご協力いただいております。今学期も大変お世話になりました。ありがとうございました。



〔7/8 1・2年生のさつま畑除草活動〕

まもなく土用の入り。暑さに負けそうですが、どうぞ皆様、健康と安全に気を付け、元気にお過ごしください。



